

2024/6/16

ルカの福音書 講解メッセージ⑩

『ルカの福音書 4章 31-44節 「苦しみ」の福音』

※ キリストの権威

「それからイエスは、ガリラヤの町カペナウムに下られた。そして、安息日ごとに、人々を教えられた。人々は、その教えに驚いた。そのことばに権威があったからである。」（ルカ 4:31-32）

イエス様はただの大工の息子であって、この世の肩書きは何も持っていましたが、人々は、イエス様のことばに権威を認めました。いったい何をもって、権威を知ったのでしょうか。

人間は、神に似せて造られた存在で、神のいのちの息が吹き込まれて造られています。つまり、私たちの土台は神のいのちであり、私たちの土台には神のことばがあります。それで、すべての人間の潜在意識の根底に神のことばがあり、誰もが、神のことばを聞いています。それは、心の声・良心とも呼ばれます。人は無意識の中で、この神の声によって動かされているので、意識できる言葉でそれを聞いたとき、心が揺さぶられるような感動を覚えるのです。それが神のことばの権威です。クリスチヤンでない人であっても、聖書のことばに感動を覚えるのは、心の奥底で聞いている言葉だからです。

信じるべき言葉は、人のことばではなく神のことばです。

※ 汚れた靈とは

「また、会堂に、汚れた惡靈につかれた人がいて、大声でわめいた。」（ルカ 4:33）

聖書が書かれたのは 2000 年前ですから、今のように医学が発達しているわけではありません。そのため、心の病気は、惡靈につかれたと呼ばれていました。惡靈とは固有名詞ではなく悪い靈という意味であって、惡靈につかれたとは、偽りの情報によって心の病に陥った状態を指します。心の病気は偽りの情報によって起きるのです。人は、神によって神に似せて造られたものであり、永遠性に規定された存在です。

永遠とは、ただ時間が長く続くことではなく、変わらないということです。それを聖書は真理と呼びます。この世は多数決が正しいこととしますが、聖書の教えはそうではありません。永遠に変わらないものが真理なのです。

ところが、私たちは変化する世界で暮らしているため、神に似せられて永遠に変わらないもので規定されているにも関わらず、この世に合わせて自分を規定しなおそうとしています。つまり、人のことばで自分が何者であるか知ろうとするようになったのです。

変化しない神によって規定されているのに、変化し続ける人のことばで規定すると、そこに矛盾が生じます。その苦しみから病が生まれるのであります。

「神はお造りになったすべてのものを見られた。見よ。それは非常に良かった。
夕があり、朝があった。第六日。」（創世記 1:31）

「非常に良い」これが、神が規定した人間の本来の姿です。神のことばは変わることがない、と神は言われました。何があってもあなたは良いものです。ところが、人のことばはあなたの行いを見て「良い」と言ったり「悪い」と言ったり、評価が変わります。それが、神が規定された姿と違うので、苦しみを覚えるのです。人から悪く言われるとつらくなるのは、その評価が正しくないからです。つまり、人の言葉を信じ、人の言葉で自分を規定するから、苦しみを覚えるのです。このようなことばを聖書は偽りの情報と呼びます。偽りの情報とは、変わる情報のことです。真理とは変わらない情報のことです。偽りの情報を信じ、心が身動きの取れなくなった状態が、悪霊につかれたと言われる状態です。

「ああ、ナザレ人のイエス。いったい私たちに何をしようというのです。あなたは私たちを滅ぼしに来たのでしょうか。私はあなたがどなたか知っています。神の聖者です。」（ルカ 4:34）

闇は光がわかるのです。だから、偽りの情報を発信するわけです。

人が苦しみを覚えるというのは、良きものであることのしるしです。神に愛され、神を必要とし、神と共に生きなければならぬことのしるしなのです。人は、偽りの情報を信じることで苦しみます。「お前はダメだ、愛されていない」という言葉で苦しむのは、あなたは良きもので愛されているからにはかなりません。愛されていないという偽りを信じたことで苦しんでいるわけですから、この苦しみは、真理である神のもとでしか取り除くことはできません。

ですから、苦しみを覚えるのは、悪いことではありません。苦しみは神を知る道です。

「イエスは彼をしかって、「黙れ。その人から出て行け」と言われた。するとその悪霊は人々の真ん中で、その人を投げ倒して出て行ったが、その人は別に何の害も受けなかった。」（ルカ 4:35）

偽りの情報を追いかけると、人はいやされます。

この世における最大の偽りの情報は、あなたはダメな者という情報です。その情報を信じているので、私たちは、無意識に、がんばることで評価を上げ、愛されようとしています。しかし、神は、あなたがどのような者であろうとも、同じように愛しておられますから、頑張る必要はありません。

※ 神のことばは変わらない

「人々はみな驚いて、互いに話し合った。「今のおことばはどうだ。権威と力とでお命じになったので、汚れた靈でも出て行ったのだ。」こうしてイエスのうわさは、回りの地方の至る所に広まった。」（ルカ 4:36-37）

神のことばを信じられれば、人は正気の状態に戻ります。人のことばは、私たちの心をむしばみます。

「人はみな草のようで、その榮えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。」とあるからです。あなたがたに宣べ伝えられた福音のことばがこれです。」

（ I ペテロ 1:24-25）

神のことばは変わることがない。これにつかまりなさい。これが福音です。この世界で私たちが捕まるべき方はこの世界に来られたイエス・キリストです。

この世界は変わっていきます。自分の考えも変わっていきます。この世の中で素晴らしい言われることは一瞬の出来事です。そこにつかまつても、安心することはできません。常に人のことばが気になるのは、変わっていくからです。人の言葉で、自分の価値を引き上げようとしているのに、どんどん変わっていくので、いつも不安でお

びえていかなければいけません。それでいいのでしょうか。

神は、私たちに、変わらないものを教えるために来られました。それが神のことばです。神のことばにつかまれば、あなたは変化することがなく、永遠です。何も心配する必要がなくなります。神が共にいるのですから。

神によって規定されている私たちは、神のことばを聞けば、それがわかります。しかし、苦しみがなければ、この言葉も聞こえてくることはありません。闇があつて初めて光が見えるようになります。こうして、変わることのないイエス・キリストにつかまるようになると、安心できるようになるのです。

私たちが傷つくのは、人の言葉を信じるからです。あなたのことを「非常に良かった」と言っている神のことばを信じないで、否定したせいです。これを不信仰というのです。イエス様は、「罪とはわたしの言葉を信じないことである」と言われました。神があなたを良きものと規定したのに、それを信じようとしないから苦しむのです。苦しみとは、罪の表れです。しかし、幸いなことに、神はその罪を赦すために来られました。つまり、苦しみがなければ、神と出会えないのです。ですから、自分が罪びとであることを、何も心配する必要はありません。神は私たちをさばくためではなく、私たちを赦し救うために来られたのですから。

誰もがこの世界で、病気で苦しんでいます。体の病気だけでなく、心の病気、すなわち、人の言葉を信じ、人の目を見て恐れて生きています。神は、それを何とか助けていたいと思って、この世に来てくださいました。さばくためではありません。私たちが神のことばを聞いて、つかむためです。それは、あなたが苦しみの中にあって初めてわかるものです。この福音を信じれば、あなたは光を見ることができます。

「イエスは立ち上がって会堂を出て、シモンの家に入られた。すると、シモンのしゅうとめが、ひどい熱で苦しんでいた。人々は彼女のためにイエスにお願いした。イエスがその枕もとに来て、熱をしかりつけられると、熱がひき、彼女はすぐに立ち上がって彼らをもてなし始めた。日が暮れると、いろいろな病気で弱っている者をかかえた人たちがみな、その病人をみもとに連れて來た。イエスは、ひとりひとりに手を置いて、いやされた。」（ルカ 4:38-40）

イエスは心の病気だけでなく、体の病気も直されました。心の病気も体の病気も、すべての病気の原因は死にあります。悪魔の仕業で死が入り込みましたが、この悪魔の仕業を打ち壊すために神は来られました。神はすべての病いをいやしてくださいますが、私たちが死の体になったがゆえに、完全に治ることはできません。イエス様は、体の病気をいやされたあと、よく「黙っていなさい」と言われました。それは、体の

癒しはこの世だけのものであり、一時的だからです。神は、私たちに永遠の体、つまり朽ちることのない靈の体を与えると約束しておられます。これを永遠のいのちと言います。

「また、悪靈どもも、「あなたこそ神の子です」と大声で叫びながら、多くの人から出て行った。イエスは、悪靈どもをしかって、ものを言うのをお許しにならなかった。彼らはイエスがキリストであることを知っていたからである。」（ルカ 4:41）

闇は光を知っているということです。だから、偽の光を作ります。世の中は偽の光で満ち溢れています。「こうすればうまくいく」と、偽の光で人々を引き寄せています。なぜ偽の光が存在するのでしょうか。それは、彼らが本当の光を知っているからです。悪靈あるいは悪魔とは、固有名詞ではなく、神に反対するものという意味の一般名詞です。つまり、神に逆らう運動を指します。この世界には、真理に反対する運動があります。神はいのちです。いのちを否定する運動は死です。そういうわけで、悪魔は死をつかさどる者であり、偽りの父と呼ばれています。つまり、悪魔・悪靈と戦うとは、偽りの情報と戦うことです。

❖ 悪魔・悪靈とは

「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。」（ヨハネ 8:44）

私たちは、悪魔・悪靈というものに対して、勝手なイメージを持っていますが、聖書のことばは聖書の言葉で解釈しなければ、正しく理解することはできません。悪魔とは、「偽りの情報を流すもの」の総称、その運動であって、固有名詞ではありません。つまり、私たちは偽りの情報を信じてしまうものであって、これを罪人というのです。

「しかし、このわたしは真理を話しているために、あなたがたはわたしを信じません。」（ヨハネ 8:45）

私たちが神を信じることができないのは、偽りの情報を信じてしまうからです。神は真理であり、偽りの情報は、真理に敵対する情報です。悪魔・悪霊と呼ばれているのは、この真理に敵対する情報の総称です。

あなたは真理に規定されているから、偽りの情報を信じると苦しくなるのです。その治療方法は簡単です。偽りの情報を追い出すしかありません。

「この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。」（ヨハネ 1:4-5）

闇は光を知っています。神は光です。人は光を求めています。そこで、闇は、偽りの光で人をおびき寄せますが、光に打ち勝つことはありません。

イエス様は、「人は全世界を手に入れても真のいのちを損じたら何になるのか」と言われました。この地上で、あなたは何につかまって生きているでしょうか。変わるものにつかまって生きているなら、死を迎えることは恐怖でしかありません。しかし、イエス・キリストにつかまっている人にとっては、死は通過点です。イエス・キリストが復活したように私たちも復活し、天国に行くという希望を持つことができます。人生はあっという間です。この世界は苦しみがたくさんあるのは、神があなたを引き戻そうとして、語りかけておられるからです。

▣ 苦しみを解決できるのは神だけ

「朝になって、イエスは寂しい所に出て行かれた。群衆は、イエスを捜し回つて、みもとに来ると、イエスが自分たちから離れて行かないよう引き止めておこうとした。しかしイエスは、彼らにこう言われた。「ほかの町々にも、どうしても神の国の福音を宣べ伝えなければなりません。わたしは、そのため遣わされたのですから。」そしてユダヤの諸会堂で、福音を告げ知らせておられた。」（ルカ 4:42-44）

こうしてイエス様は真理を伝えていかれました。

私たちを苦しめているのは、偽りの情報です。私たちが苦しみを覚えるのは、良きものとして規定されているからです。この世界の情報を信じてしまうと、苦しみが生じます。

苦しみは私たちを神に導くコンパスです。苦しみにしっかりと目を向けましょう。

恐れ、不安から目をそらさず、神に導くコンパスになります。私たちを神に導くのは苦しみです。そうすると、あなたは神に導かれます。

「私は苦しみの中に【主】を呼び求め、助けを求めてわが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、御前に助けを求めた私の叫びは、御耳に届いた。」

(詩篇 18:6)

「私の苦しみの日に、あなたは私のとりで、また、私の逃げ場であられたからです。」(詩篇 59:16)

「彼が、わたしを呼び求めれば、わたしは、彼に答えよう。わたしは苦しみのときに彼とともにいて、彼を救い彼に讃れを与えよう。」(詩篇 91:15)

「この苦しみのときに、彼らが【主】に向かって叫ぶと、主は彼らを苦悩から救い出された。」(詩篇 107:6)

「苦しみに会ったことは、私にとつてしまわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました。」(詩篇 119:71)

「苦しみのうちに、私が【主】に呼ばわると、主は私に答えられた。」(詩篇 120:1)

クリスチャンに共通しているのは、苦しみの中でイエス・キリストを知ったという証です。この世界は常に変わるものですから、見える世界に生きている限り、誰もが苦しみの中にはあります。しかし、苦しみに遭う人は幸いです。苦しみを通して、神と会うことができるからです。ですから、神があなたを愛しているのに、この世のことばで自分をとらえなおそうとしてはなりません。人のことばで自分を慰めたりごまかしたりする生き方をやめましょう。変わりゆくものは偽りの情報であり、私たちの苦しみの原因です。

苦しみから逃げないで、しっかりと見つめてください。私たちの苦しみを解決できるのは、イエス・キリストだけです。イエス・キリストの言葉だけが、私たちにいのちを与えて平安を与えてくれるのです。